

女性・母親・会社員の視点から小平の“未来”を創造します！



竹井 よこ通信

小平市議会議員 竹井よこ 会派 フォーラム小平

第17号 (2018年11月発行)

竹井よこ後援会
〒187-0041 小平市美園町1-1-15
TEL/FAX: 042-207-1232
E-mail: info@takeiyoko.com
公式HP: http://takeiyoko.com/

市議会議員としての1期目の任期も残すところ半年あまりとなりました。これまでの経験と反省を糧に残りの任期も精一杯頑張ります。

◆ 9月定例議会報告 ◆

一般質問において、以下3点質問しました。いずれも、市民の皆様からお寄せいただいた、ご意見・ご要望をもとに質問いたしました。



小平市議会Webで
定例会一般質問の動画配信中

<http://www.discussvision.net/kodairasi/2.html>

1. 救える命を救うためにAEDの より一層の普及と周知を

日本では7.5分に1人が心臓突然死で亡くなっており、1年間では約7万人に上ります。

現在、小平市の公共施設には90台のAEDが設置されています。7月には、ルネ小平で心肺停止の方にAEDを使った救命処置が行われ、一命を取り留めたという報告もあります。

しかしまだ課題も多く、以下のとおり質問しました。

【質問①】 子どもから高齢者まで利用者の多い「大沼グラウンド」にAEDを設置すべき。

【回答①】 大沼グラウンドは無人管理のため、精密機械であるAEDの保管や使用環境への配慮が難しく、現時点では困難である。

【質問②】 公共施設のAEDも閉館時間帯には使えない。コンビニエンスストアと提携してAEDを設置できないか。

【回答②】 コンビニに設置することの効果は大きい。今後ヒアリング行う等して研究する。

AED(自動体外式除細動器)は心肺停止を起こした場合に、電気ショックを与え、平常の心機能を回復させる医療機器です。

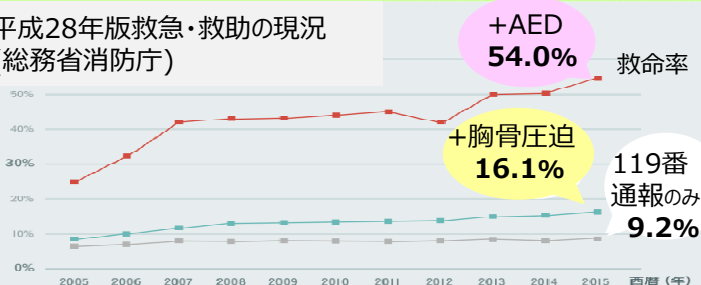


大沼グラウンドにAEDが未設置であるのは看過できません。スポーツの現場では心臓突然死のリスクが安静時の17倍と言われています。胸にボールがあたって心臓震盪(しんとう)を引き起こすこともあります。

近隣設置場所の案内表示に加え、グラウンドに屋外用保管ボックスなどで設置することを強く要望していきます。

調査した結果、市内に約60店舗ある大手3社のコンビニにはAEDの設置はありませんでした。市にはコンビニと連携してAEDを設置していくよう、併せて使用法の講習会等についても要望していきます。

平成28年版救急・救助の現況
(総務省消防庁)



突然の心停止から救命するためにできることは
①119番通報 ②胸骨圧迫(心臓マッサージ)
③AEDによる電気ショックです。

119番通報をして救急隊の到着を待っていたのでは9.2%の人しか救命できませんが、胸骨圧迫をすることで2倍、さらにAEDを用いた電気ショックが行われることで、突然の心停止の半数以上の人を救えます。(日本AED財団ホームページより)

2. 小平市防災マップを全世界帯に届けるべき

【質問①】防災マップを全戸配布すべき。

【回答①】市役所、公民館、地域センター等に配置している。また、ホームページや防災マップアプリなどでも閲覧できるため、現在、全戸配布は考えていない。

【質問②】市報に防災マップを掲載できないか。

【回答②】サイズが合わないのが難しいが、あらゆる機会に防災情報は啓発していく。



防災マップは、表面に避難所、給水ポイント、**浸水予想区域図**など。裏面には防災に関する様々な情報が掲載されています。

小平市の場合、浸水予想区域は少ないですが、自宅が予想区域になっていなくても、外出先で発災したときのためにも、浸水のおそれがある区域を事前におくことは大切だと考えます。

市民の方から「回覧板で見たが非常に役に立つので、全戸配布してほしい」との声を頂きました。近隣市でも全戸配布されている例もあります。引き続き要望していきます。

3. 指定管理者による市民総合体育館の運営について

【質問①】指定管理者（事業者）の事業報告書については、市民に情報提供されるべき。併せて第三者による評価も行われるべき。

【回答①】事業報告書は、公開する資料との位置づけではない。第三者評価は今後の研究課題とする。

【質問②】体育館利用料の障害者割引の検討状況は。

【回答②】近隣市の状況も見て、2年後のパラリンピックまでには一定の課題整理を行う予定。

市民総合体育館は、開館日数増、時間延長やサービスの工夫によって毎年利用者数が増加しています。一方、事業報告書が未公開のため、市民からは事業状況がよくわからないとの声があります。（国分寺市ではホームページで公開）

また、第三者評価を取り入れることによって事業者も市も気づきを得て、改善することで市民への利益還元につながります。

障害者割引は「検討する」としてから時間が経ち過ぎています。2年後のパラリンピックに向け、練習に励みたい人も多く、また障害者も健全者と一緒にパラスポーツを楽しむ機運も高まっていることから、早期の導入を望みます。

竹井ようこプロフィール

小平市仲町在住

【略歴】

1966年 1月28日 滋賀県生まれ 名古屋育ち
 名古屋市立菊里高校卒 南山大学外国語学部英米科卒
 1988年 4月 日本電信電話(株)入社
 国際部などで業務経験を積む
 1991年 4月 (株)情報通信総合研究所出向
 Didier & Associates法律事務所(ベルギー) 派遣
 欧州各国での情報通信政策について調査・分析
 1994年 6月～98年 9月 出産・育児のため休業等
 職場復帰後は育児に仕事に多忙な日々を過ごす
 1999年 7月 NTTコミュニケーションズ(株)
 情報通信の最前線で企画・法務等の業務に従事
 2015年 4月 小平市議会議員選挙にて初当選
 【家族】 夫、長男、長女、柴犬(♀)



活動記 トピックス



「竹井ようこ活動報告会」(2018年7月)
 政策実現に向けてこれまでやってきたこと、
 これからの目標などをご報告しました。

「ごみ有料化説明会」(2018年9月)
 近隣の皆様と一緒に具体的に何が
 どう変わるか市の職員に聞きました。



フェイスブックは

「竹井ようこ」で検索!

竹井ようこホームページ

<http://takeiyoko.com/>